

科目名	公衆栄養学実習					開講 キャンパス	神 埼
担当者	船 元 智 子						
開講年次	3	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	公衆栄養活動における健康・栄養問題を解決するために必要な「実態把握、アセスメント、計画立案、目標設定、プログラム実施、評価、フィードバック」に至る公衆栄養マネジメントの実践について実習を展開する。						
授 業 の 到達目標	①栄養・食生活に関する各種研究成果を読み取り、概要をまとめることができる。 ②地域集団の栄養・食生活状況の推移と課題が説明できる。 ③各種食事調査の実践について理解し、説明できる。 ④食事調査の結果の集計・分析について理解できる。 ⑤食環境としての外食を題材とした栄養評価ができるとともに、改善への提案ができる。 ⑥対象の特性に応じた公衆栄養プログラムの企画書、体系図、指導計画書、広報媒体、評価シート等が作成でき、課題解決に向けた提案ができる。 ⑦課題に対応した効果的な指導教材が作成できる。 ⑧活動における各種事業の進め方とその留意点を説明することができる。 ⑨作成したプログラムをプレゼンテーションし、評価できる。						
学習方法	パソコンを利用した情報処理実習、グループワーク、プレゼンテーション等						
テキスト及び参考書等	テキスト：公衆栄養学実習（建帛社）プリント配布						
評価基準・方法	到達目標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	◎			20		
小テスト等							
宿題・授業外レポート	◎	◎	◎	◎	80		
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度							
その他							
合 計					100		
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	公衆栄養活動に必要な栄養情報資料の作成（栄養・健康に関する各種研究成果を読み取る）						
第 2 週	地域集団の栄養アセスメント①（国民健康・栄養調査の推移と課題を読み取る）						
第 3 週	地域集団の栄養アセスメント②（食事調査の実施）						
第 4 週	地域集団の栄養アセスメント③（食事調査結果の集計・分析）						
第 5 週	食環境に関するアセスメントと活用①（外食を題材とした評価と活用）						
第 6 週	食環境に関するアセスメントと活用②（外食を題材とした評価と活用）						
第 7 週	公衆栄養プログラム作成（企画書）						
第 8 週	公衆栄養プログラム作成（体系図）						
第 9 週	公衆栄養プログラム作成（社会資源）						
第 10 週	公衆栄養プログラム作成（指導計画書）						
第 11 週	公衆栄養プログラム作成（効果的な教材）						
第 12 週	公衆栄養プログラム作成（広報媒体）						
第 13 週	公衆栄養プログラム作成（評価シート）						
第 14 週	公衆栄養プログラムのプレゼンテーション準備						
第 15 週	公衆栄養プログラムのプレゼンテーション・評価						
第 16 週							
備 考	事前事後学習については授業ごとに指示を行う。						